

News Release

30% Club Japan『第3回 TOPIX 社長会』を開催 ～雇用慣行の転換について、事例をもとに議論を展開～

日本企業の役員に占める女性割合向上を目指して活動する30% Club Japan (Chair:資生堂 魚谷雅彦)は11月12日、取り組みの一環として、TOPIX 100、TOPIX Mid 400等のメンバー(*1)から成るコミュニティ、『TOPIX 社長会』の第3回目の会合を開催しました。当日は15名のメンバー(*2)が参加し日本企業におけるダイバーシティ推進に関して活発な議論を行いました。

前回、緊急事態宣言の最中の議論では、コロナ禍により大きく変容した働き方を機に、これまでの雇用慣行を見直し、女性のキャリア成長、ひいてはダイバーシティの加速を促すべきとの考えを共有しました。これを受け、今回は、日本における雇用慣行の転換について、業界の枠を越えた様々な意見が交わされました。また、株式会社日立製作所 代表執行役 執行役員専務の中畑 英信氏より、「日立の事業戦略に基づいた人財戦略とその実行」に関する事例共有が発表されました。なお、主な議論の内容は以下の通りです。

- 社会全体には、依然としてアンコンシャスバイアスが存在している。評価とは別にタレントレビューなどを実施すべきだ。例えばパフォーマンス×ポテンシャルというマトリックスを活用することで、男女関係なく、一人ひとりの今後の活躍可能性を議論することが大切。
- スキルや専門性を高めると配属領域が限定される傾向がある一方で、異動によって思いがけない才能を発揮する事例も多々ある。特に若手(30代)などについてはポテンシャルを重視した配置転換などにも積極的に挑戦していくことが重要。
- 中小企業は大企業と違い、仕事の領域やポジションが少ない場合が多く、配置転換などによる女性活躍のきっかけづくりがなかなかできていない。今後は、中小企業への提言なども視野に入れるべき。
- ジョブ型は日本企業にとって、女性の活躍推進だけでなく、多様な働き方、新たな事業成長を生み出すきっかけとなる雇用システム。
- 事業内容や人事戦略によってジョブ型が適さない企業があることは事実。各社の状況に合わせて、柔軟に対応していくべき。
- 欧米の雇用慣行も変わってきており、解雇、人材育成、チームワークなどに関する考え方は80年代と現在とでは大きく違う。雇用慣行について、もはや欧米型・日本型と分けることはできなくなっている。一方で日本は欧米に比べ、自ら手を挙げる風土の醸成が依然として課題。

最後に、トップの関与・アクションを引き続き実行するとともに、各社の事業・環境・方針に沿って、雇用慣行の転換において様々な組み合わせを柔軟に進めることが重要であることが共有され、第3回 TOPIX 社長会が締めくくられました。

30% Club Japan『TOPIX 社長会』は、今後も日本企業における女性活躍を阻む本質的課題の解決につながるアクションを進めながら、女性の経営参画のスピードアップを図ります。

次回は2021年5月に開催予定です。

(*1) 30% Club Japan は社長、会長、ボード議長、または同等のポジションの方のみがメンバーになることが可能です。

(*2) 第3回 30% Club Japan 『TOPIX 社長会』の参加メンバー(企業名五十音順)

- 味の素株式会社 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者 西井 孝明
 - アステラス製薬株式会社 代表取締役会長 畑中好彦
 - ANA ホールディングス株式会社 代表取締役社長 片野坂 真哉
 - MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社 取締役会長 会長執行役員 柄澤 康喜
 - 花王株式会社 代表取締役 社長執行役員 澤田 道隆
 - キリンホールディングス株式会社 代表取締役社長 磯崎 功典
 - 株式会社 資生堂 代表取締役社長 兼 CEO 魚谷 雅彦
 - 株式会社大和証券グループ本社 代表執行役社長 中田 誠司
 - 株式会社テレビ朝日 代表取締役社長・COO 亀山 慶二
 - 株式会社電通グループ 代表取締役社長執行役員 山本 敏博
 - 東京海上ホールディングス株式会社 取締役社長 グループ CEO 小宮 暁
 - 株式会社日立製作所 代表執行役 執行役社長兼 CEO 兼取締役 東原 敏昭
 - ライオン株式会社 代表取締役会長 取締役会議長 最高経営責任者 濱 逸夫
 - 株式会社りそなホールディングス 取締役兼代表執行役社長 南 昌宏
 - 株式会社ローソン 代表取締役社長 竹増 貞信
- ※株式会社新生銀行 代表取締役社長 工藤 英之(集合写真撮影時)



【第3回 TOPIX 社長会 集合写真】

※撮影時のみ、マスクを外しています



【議論の様子】

【30% Club Japan 概要】

- ・名称: 30% Club Japan (サーティパーセントクラブジャパン)
- ・発足日: 2019年5月1日
- ・創立者: 只松 美智子(デロイトトーマツ コンサルティング合同会社)
- ・目標: TOPIX100の役員に占める女性割合: 2030年 30%
- ・メンバー: 上場企業等の社長・CEOらトップマネジメント 60名(2020年11月12日時点)
- ・URL: <https://30percentclub.org/about/chapters/japan>
- ・Twitter: @30percentclubJP1

・運営体制(2020年11月12日時点)

- Chair: 魚谷 雅彦(株式会社 資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
Vice Chair : 後藤 順子(デロイトトーマツ グループ ボード議長)
ダグラス・ハイマス(バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 在日代表)

Steering Committee Members:

- 魚谷 雅彦(株式会社 資生堂 代表取締役社長 兼 CEO)
後藤 順子(デロイトトーマツ グループ ボード議長)
ダグラス・ハイマス(バンク・オブ・ニューヨーク・メロン 在日代表)
只松 美智子(デロイトトーマツ コンサルティング合同会社 Gender Strategy Leader)
日比野 隆司(株式会社大和証券グループ本社 取締役会長)
青木 淳(株式会社 資生堂 常務 チーフソーシャルバリュークリエイションオフィサー)
治部 れんげ(ジャーナリスト)
塚原 月子(株式会社 カレイディスト 代表取締役)

Advisory Board Members:

- 西井 孝明(味の素株式会社 代表取締役 取締役社長 最高経営責任者)
土屋 大輔(ブランズウィック・グループ パートナー)
飯沼 綾(ハイドリック&ストラグルズジャパン合同会社 東京オフィス代表)
坂東 真理子(昭和女子大学 理事長・総長)

Working Groups:

- TOPIX 社長会 (Chair: 魚谷 雅彦)
インベスター・グループ (Chair: ダグラス・ハイマス)
メディア・グループ (Chair: 只松 美智子)
大学グループ (Chair: 坂東 真理子)